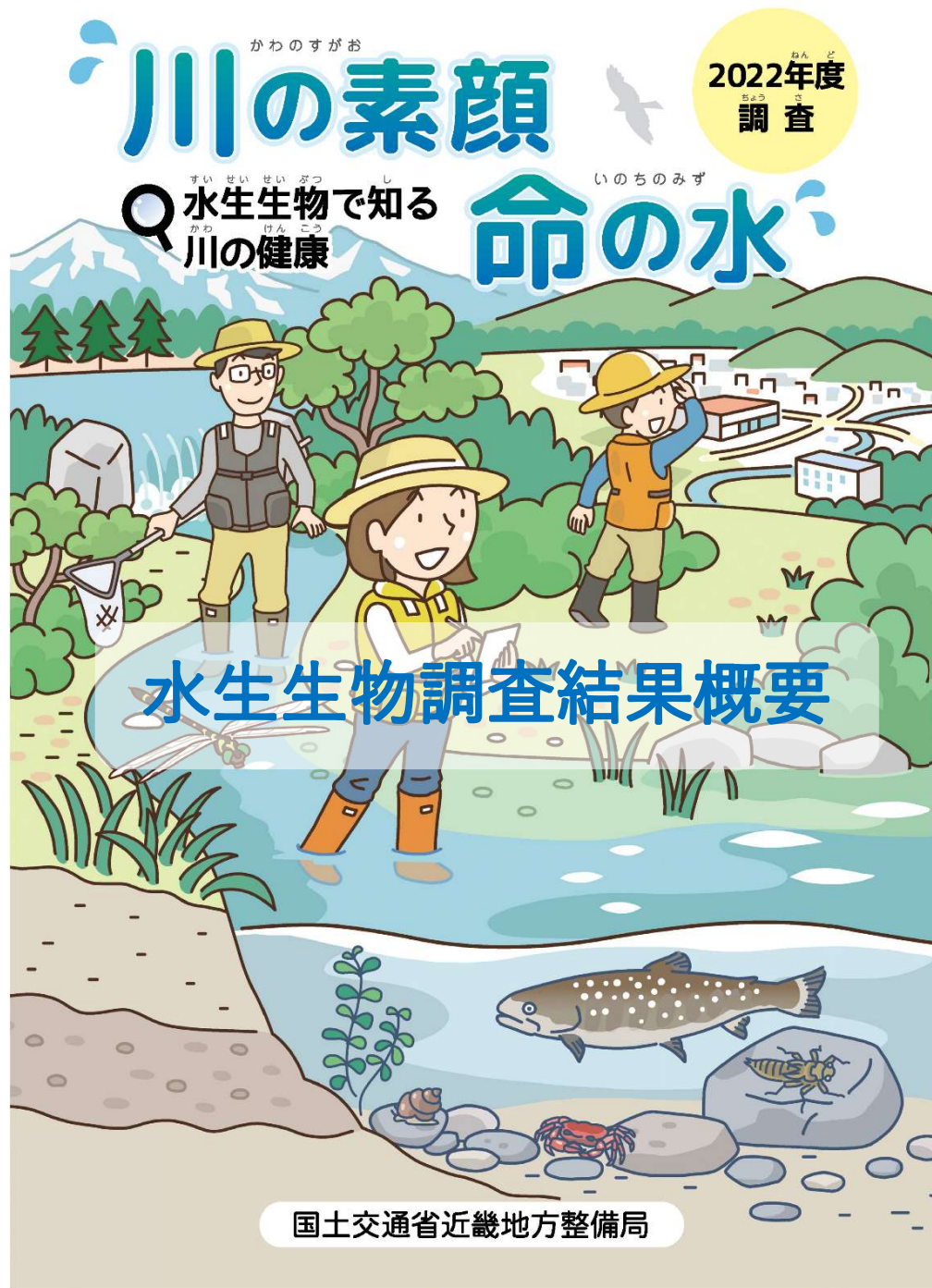




水生生物を調べて川の のきれいさを知ろう！

- 川にすむ生きものを水生生物といいます。水生生物を調べると「水のきれいさ」を知ることができます。
- 水生生物の調査は、みなさんの参加によって毎年行われています。



水生生物調査とは？

- 川の「水のきれいさ」を知るため、川にすんでいる水生生物の種類をしらべる調査で、みなさんの参加と協力によって30年以上続いています。
- とくべつな道具を使わなくても、小学生以上であれば、簡単に調査をすることができます。
- 「川にすむ生きもの」や「水のきれいさ」を知ることで、川に親しんでいただくとともに、川を大切にするきっかけにもなります。
- 「水のきれいさ」を判定するための目安となる水生生物を『指標生物』といいます。
- 水生生物調査では、採取した水生生物のなかに『指標生物』がどれだけいるかを調べます。

『指標生物』ってなんですか？

☆29種類の『指標生物』

水のきれいさと、そこに棲む生きもの間には関係があります。水のきれいさの指標となる生きものを指標生物といいます。



Ⅰ.きれいな水									Ⅱ.ややきれいな水								Ⅲ.きたない水					Ⅳ.とてもきたない水						
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワナナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ
																												



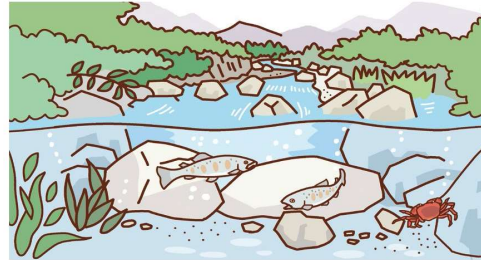
カワゲラ類
(Ⅰ.きれいな水の指標生物)

水のきれいさの区分



水質階級Ⅰ『きれいな水』

水は透明で、川底まで見え、みなさんが川の中に入って遊びたくなるようなところです。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物が生え、日陰もあります。



水質階級Ⅱ『ややきれいな水』

周りには田んぼがあって、水がややにごっているようなところです。川の中の石を持ち上げるとたくさんの生き物を見つけることができます。



水質階級Ⅲ『きたない水』

排水路が川につながっていたり、周りには多くの人家が見られたりするようなところです。川底は泥のようになっています。

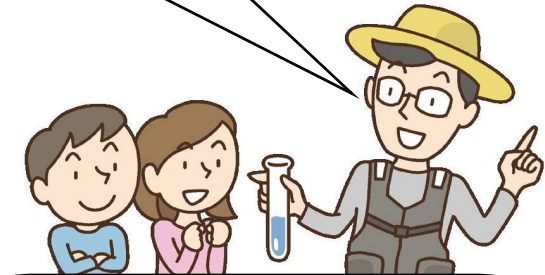


水質階級Ⅳ『とてもきたない水』

周りには工場なども多く、人がたくさん住んでいるようなところです。川の水はにごっていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。



水のきれいさは「水質階級」という基準で分けられているんだ。



- 川の“水のきれいさ”は、左表に示す4つの水質階級に分けられています。
- 水質階級ごとにすんでいる生きものの種類が異なります。

指標生物の種類 (水質階級 I きれいな水)

水質階級 I きれいな水

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



外来種 アメリカソウズムシ*
耳状のとがった突起
また、体に横線があるのも外来種

ヨコエビ類

上流の石の下や水中にたまった
落葉の間にいる

第2触角が第1触角の1/2以上
最も後ろの足が、その前の足より長い



外来種 フロリダマミズヨコエビ*
第2触角が第1触角の1/2
最も後ろの足が、その前の足より短い

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色の
ものがあるが、同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものおそう



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている



ヤマトビケラ類

流れの少しゆるやかなところの
石の表面に多い



カワゲラ類

体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



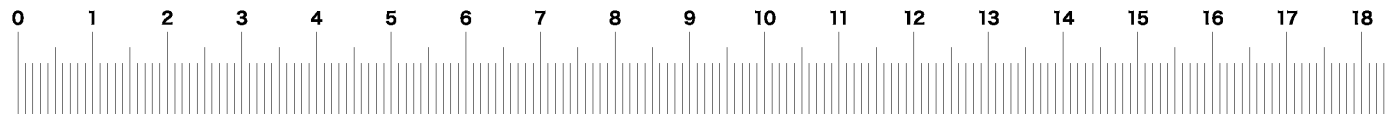
ブユ類

急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



水質階級 I (きれいな水) の
指標生物は10種類います。み
たことありますか？

* のついている水生生物は指標生物 (水質判定に使う水生生物) では
ありません。



指標生物の種類 (水質階級Ⅱややきれいな水)



両方の水質階級に
いる水生生物もい
るんだね。

水質階級Ⅱ ややきれいな水

カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカツボ*は数mmと小型



外来種 コモチカツボ*
殻の口が丸

コガタシマトビケラ類

頭部の前縁に浅い凹みがある



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



Ⅰ Ⅱ 両方でみられる水生生物 (指標生物ではありません)

タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる



ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはって
えさを集める 体色は茶〜黒色



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところの
石の表面にいる



ゲンジボタル

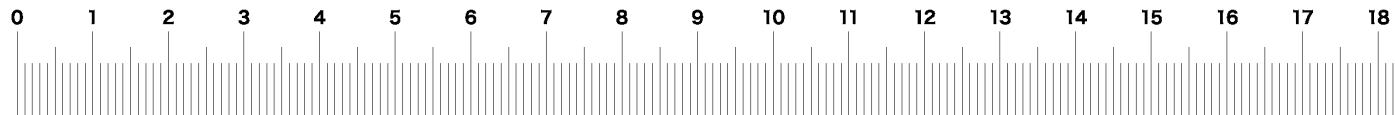
流れが少しゆるやかなところにいる カワニナをえさとする



前胸の模様が異なる



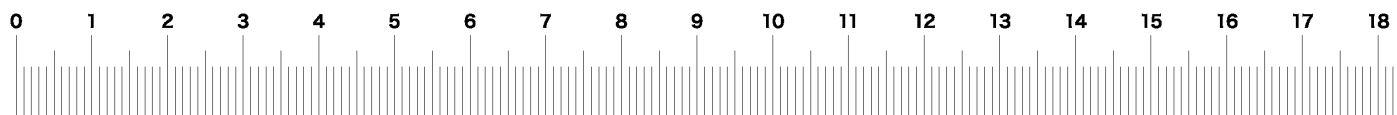
*のついている水生生物は指標生物 (水質判定に使う水生生物) ではありません。



指標生物の種類 (水質階級Ⅲきたない水)



「きたない水」の指標生物は、「きれいな水」や「ややきれいな水」の指標生物より種類が少ないんだね。



指標生物の種類 (水質階級Ⅳとてもきたない水)

アメリカザリガニは
「とてもきたない水」
にすんでいるんだね。



水質階級Ⅳ とてもきたない水

エラミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかな
ところにいる

じつぶつだい
実物大



ユスリカ類

腹部に2対(4本)または1対(2本)
のひも状のえらがある
瀬で見られる赤いユスリカは
セスジユスリカやハイロ
ユスリカが多い



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところ
にいる



モノアラガイ類*



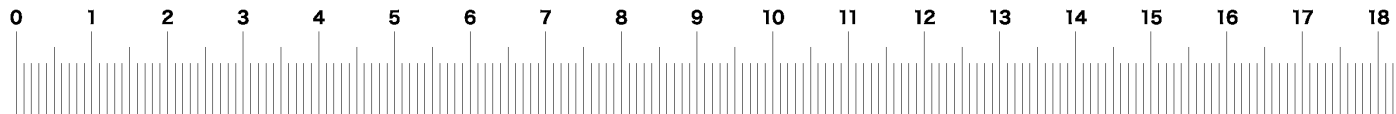
アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



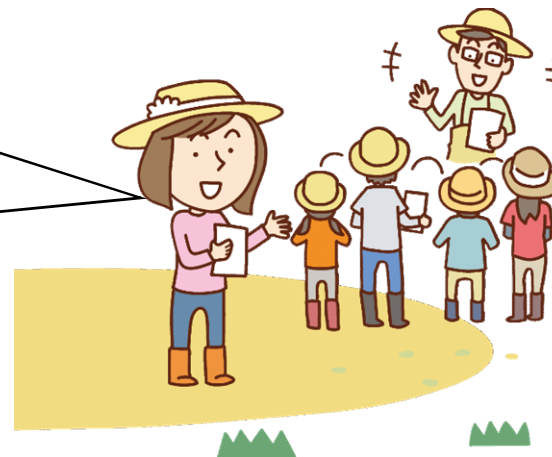
チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい
部分(キチン板)がある



指標生物の種類 (汽水域の水生生物)

汽水域にも指標生物はいるんだって。指標生物に似た水生生物もいるのでまちがえないように気をつけなといけないんだね。



汽水域の水生生物 (汽水域: 海水が混じっているところ)

水質階級 II ややきれいな水

イシマキガイ

石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある



じつがつだい
実物大

じつがつだい
実物大

ヤマトシジミ

砂や泥の中にある 淡水域には
マシジミ*や外来種の
タイワンシジミ*が
いる



じつがつだい
実物大



がいらいしゅ
外来種
タイワンシジミ*
じつがつだい
実物大

水質階級 III きたない水

イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる



じつがつだい
実物大



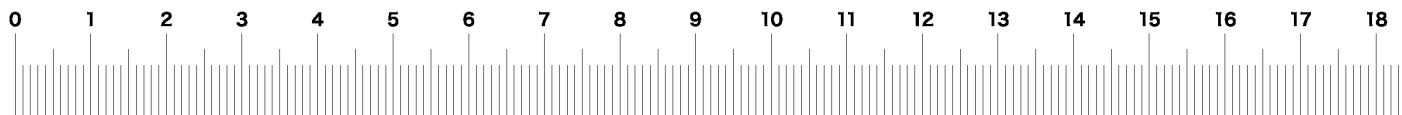
ニホンドロソコエビ

泥の上や中にある 河川の上・中流部にも
淡水性のヨコエビ類がいる



じつがつだい
実物大

しゅってん、かわ、い、しら、かんきょうしょうこくどうつうしょうへん、れいわ、がんなんどばん
出典: 「川の生きものを調べよう」環境省・国土交通省編(令和元年度版)



水生生物調査をやってみよう！

水生生物調査に興味をもったらフィールドに出てみよう！

1 調べる地点を決める

ひざくらいまでの水の深さで、ゆるやかな流れがあり、こぶしより大きい石がある場所を探し、調べる地点にしましょう。



十分に準備してからフィールドに出かけましょう。



2 天候や地点の様子を記入する

9ページの水生生物調査シートに、その日の天候や調べる地点の様子などを記入しましょう。



3 生き物を捕る

生き物が流れてしまわないように、川の下流側に網を置いてから、その場所の石をいくつか持ち上げて、バケツの中に入れましょう。また、石を持ち上げた後の川の底を足などでかきまぜて、流された生き物を網ですくい取りましょう。



4 生き物を分ける

捕った物をバットや白い敷物の上に広げます。ピンセットなどを使って生き物をより分け、透明な入れ物に入れましょう。とても小さい生き物もいるので、よく見て分けるようにしましょう。



調査が終わったら生き物を川に戻そう！

5 記録・判定

調べた生き物を水生生物調査シート(9ページ)に記録して、水のきれいさを判定しましょう。指標生物の見分け方は、14～15ページを見てください。



水生生物調査の服装・持ち物

- 水生生物調査で使う道具や服装は次のようなものです。
- 道具は先生やいっしょに行く大人の人と相談して用意してください。

服装・持ち物 ～川の中の生き物をとるときの準備～



注意しよう！

●川には、あぶないところもあるので注意して川に入りましょう！

気をつけること～安全に川を楽しむために～

川には大人の人と
いっしょに行こう！



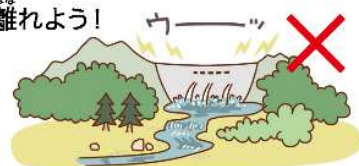
ひざよりも深いところや、流れが
速いところには行かない！



川の中や、ぬれたコンクリートの
上を歩くときは、すべて転ばない
よう気をつけよう！



ダムの放流や急な大雨があると、
川の水が急に増えることがあるので、
サイレンがなったら、すぐに川から
離れよう！



川の水が増えている時や流れの
速いときは、川に入らない！



ゴミは持ち帰ろう！



川の状況は
急に変化します！

川の様子がおかしいと感じたら、
すぐに川から離れましょう。

晴れていても、川の状態が急変することがあります。

- 急に黒い雲が近づいてきた。● 雷の音が聞こえる。● 稲妻が見えた。
- 天気予報で、「雷注意報」「大雨や洪水の警報・注意報」が出ている。など

現地の情報収集には、「川の防災情報」にアクセスし、
周辺の雨量・水位を確認してください。(https://www.river.go.jp/index)



水生生物のすみか こんなところを探してみよう！

- 水生生物は、それぞれの体形や生態によって、「すみか」（すんでいる場所）が異なります。
- 探すポイントを外すと水生生物を捕まえることができません。
- そこにすんでいる水生生物をしっかりと捕まえるには、それぞれの「すみか」がどんなところなのかを知る必要があります。

どんなところにいるのかな？



流れのゆるやかなワンドや川岸にすんでいる生き物

川の底をはいまわっている生き物

ヨコエビ類、コオニヤンマ、ゲンジボタル、ミズムシ、アメリカザリガニ、タニシ類、イソコブムシ類、ニホンドロソコエビ、エラミミズ、ユスリカ類

水草にくっついてる生き物

ミズカマキリ、サカマキガイ



流れのある瀬の石にまわりにすんでいる生き物

川の底や石の周りを、はいまわっている生き物

→肉食系が多い。カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヘビトンボ、ヤマトビケラ類

吸盤で石にくっついたり、表面をすべっている生き物

→石につけている藻類を食べるものが多い。ブユ類、ヒラタカゲロウ類、ヒラタドロムシ類、アミカ類

網をはってエサをとる種類

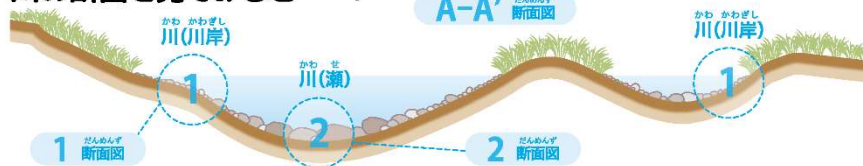
→石と石の間に網をはり、引っかかった藻類や昆虫の死骸などを食べます。コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ

どこにどんな生き物がいるのかな？

川には、流れの速い「瀬」や、流れのゆるやかな「ワンド」や「川岸」があります。瀬には、大きな石があり、そこにはりついているものや、その周りにはまわっているもの、石の間に網を張りエサをとるものなどがすんでいます。ワンドや川岸には、川の底をはいまわっているものや、水際の水草につかまっているものなどがすんでいます。



川の断面を見てみると・・・？



こんなふうを探してみよう！

ワンドや川岸

ワンドや川岸の水の流れがゆるやかなところでは、水際の植物の生えている場所や、くぼんでいるところを足でけて、出てくる生き物をタモ網で捕まえよう！



瀬の石の周りや裏

瀬にある大きな石の表面を手でなで、石にくっついてる生き物をタモ網で捕まえよう！大きな石の下や、石と石の間にある生き物は、手や足でかきまわして、タモ網で捕まえよう！



水生生物調査のやりかた

① 石が多く、流れのある瀬の場所で採取する



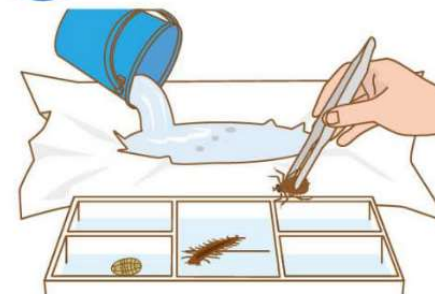
水生生物が流れてしまわないように、下流側に網をおいてから、川底の石を持ち上げ、流れ出る水生生物を網で受けます。

② 採った生きものをためておく



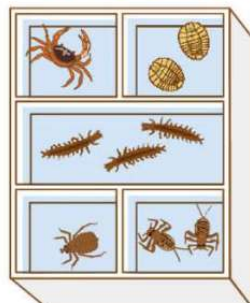
網や石の表面についている水生生物を水の入ったバケツの中に落とします。小さなものも逃さず集めましょう。

③ 白いシートに広げる



バケツの余分な水やゴミを捨ててから水生生物を白いバットやシートの上に広げ、ピンセットなどでつかまえやすくします。

④ 形が似た生きものに分ける



仕切りのあるトレイを使って、形が似た生きもの同士に分けます。

⑤ 名前を調べる



この冊子の指標生物の写真や、図鑑と見くらべて、水生生物の名前を調べます。

⑥ 調査シートに記録する



調べた結果を調査シート(6ページ)に記録して、水のきれいさを判定してみましょう。

調査シートの書き方



じっさい ちょうさ しどうしゃ
せつめい き 実際の調査では指導者の
説明を聞きながらゆっくり記入
していきます。

水生生物調査シート

き にゅう れい
記入例

学校(団体)名		なまえ		生物判定の指導者	
河川名	きんきがわ				
調査地点名	●●橋の下流				
年月日 時刻	令和4年7月20日 11:00				
天候	はれ				
気温 / 水温(℃)	24℃ / 19℃ /				
川幅(m)	4メートルくらい				
流れの速さ	ふつう				
川底の状態	石がみんな丸かった。				
水にごり、におい、その他	底まできれいに見えて、 においはなかった。				
魚、水草、鳥、その他の生物	小さい魚が見えた。 水鳥が魚をねらっていた。				
水質 階級	指標生物	見つけた指標生物の数を記入しよう。数が多かった2種類(最大3種類)に ●印、それ以外の見つけた種類には○印をつけよう。			
I きれいな水	カワゲラ類				
	ヒラタカゲロウ類	6	●		
	ナガレトビケラ類	2	○		
	ヤマトビケラ類				
	アミカ類				
	ヨコエビ類				
	ヘビトンボ				
	ブユ類				
	サワガニ				
	ナミウズムシ				
II ややきれいな水	コガタシマトビケラ類				
	オオシマトビケラ				
	ヒラタドロムシ類	5	●		
	ゲンジボタル				
	コオニヤンマ	1	○		
	カワニナ類				
III きたない水	ヤマトシジミ				
	イシマキガイ				
	ミズカマキリ				
	ミズムシ	1	○		
	タニシ類				
IV とても きたない水	シマイシビル				
	ニホンドロソコエビ				
	イソコツブムシ類				
	ユスリカ類				
	チョウバエ類				
水質階級の判定	アメリカザリガニ				
	エラミミズ				
	サカマキガイ				
	水質階級	I	II	III	IV
	1. ○印と ●印の個数	2	2	1	0
その他、気づいたこと	2. ●印の個数	1	1	0	0
	3. 合計(1欄 +2欄)	3	3	1	0
	この地点の水質階級は	I			



水質の判定をやってみよう！

水質の判定方法

～水質判定の例をよく読んで、
下の問題をやってみよう～

1 見つけた数の合計を書こう
2 アの数の中で1番目と2番目に多いものに●を、それ以外は○をつけよう
3 イの○と●の合計数を書こう
4 イの●の数を書こう
5 ウとエの数の合計を書こう
6 オの合計が一番大きかった欄の水質階級(Ⅰ～Ⅳ)を書こう(表の一番左に書いてあるよ)

【水質判定の例】

水質階級	指標生物	ア 数	イ ●か○	ウ ○と●の数	エ ●の数	オ ウ+エの数	水質階級の判定
きれいな水 Ⅰ	カワゲラ類	6	●	2	1	3	Ⅰ 同点の場合は よりきれいな 方を選ぶ
	ヘビトンボ	4	○				
	サワガニ						
ややきれいな水 Ⅱ	オオシマトビケラ	5	●	1	1	2	
	コオニヤンマ						
きたない水 Ⅲ	ミズカマキリ	1	○	1	0	1	
	タニシ類						
とてもきたない水 Ⅳ	ユスリカ類			0	0	0	
	アメリカザリガニ						

結果 この川の水は(**きれいな水**)

この川の中には、右の写真の生き物が隠れているよ。
生き物が何匹いるか数えて、下の表を完成させよう。

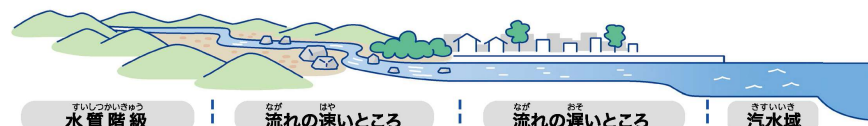
【問題】

水質階級	指標生物	ア 数	イ ●か○	ウ ○と●の数	エ ●の数	オ ウ+エの数	水質階級の判定
きれいな水 Ⅰ	カワゲラ類						
	ヘビトンボ						
	サワガニ						
ややきれいな水 Ⅱ	オオシマトビケラ						
	コオニヤンマ						
きたない水 Ⅲ	ミズカマキリ						
	タニシ類						
とてもきたない水 Ⅳ	ユスリカ類						
	アメリカザリガニ						

結果 この川の水は()

答えは31頁にあります

水のきれいな指標生物は、
右の表でもわかるよ！



水質階級	流れの速いところ	流れの遅いところ	汽水域
きれいな水	ヒラタカゲロウ類 アミカ類 ヤマトビケラ類	ナミウスズミ ナガレトビケラ類 サワガニ	
ややきれいな水	オオシマトビケラ コガタシマトビケラ類 ヒラタドロシ類	カワゲラ類 ヘビトンボ ヨコエビ類	イシマキガイ ヤマトシジミ
きたない水	カワナナ類 コオニヤンマ ゲンジボタル	タニシ類 ミズカマキリ ミズムシ シマイシビル	イソコツブムシ類 ニホンドロソコエビ
とてもきたない水	アメリカザリガニ エラミミズ サカマキガイ ユスリカ類 チョウバエ類		

水生生物調査結果概要（近畿全体の概要）

<令和4年度調査>

●令和4年度は、近畿地方（兵庫県、京都府、大阪府、滋賀県、奈良県、和歌山県、福井県、三重県の8府県）の合計49地点で調査を行いました（水質評価を行わなかった1地点を含みます）。

●調査結果は以下の通りでした。

😊 きれいな水……………17地点

🙄 ややきれいな水……29地点

 きたない水……………2地点

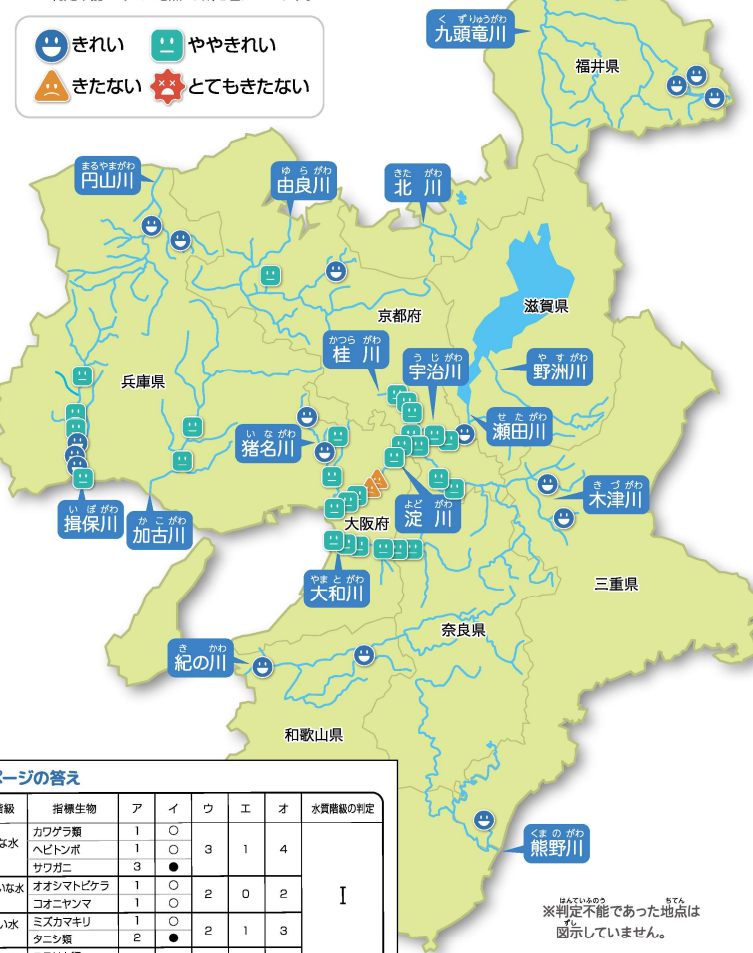
 とてもきたない水・・・0地点

●川の上流では「きれいな水」が多く、中～下流では「ややきれいな水」が多くなっています。

みんなで調べた
近畿の水のきれいさマップ（令和4年度）

令和4年度は近畿の49地点※で水のきれいさを調べました。

※判定不能であった地点1か所を含んでいます。



※判定不能であった地点は
図示していません。

12ページの答え

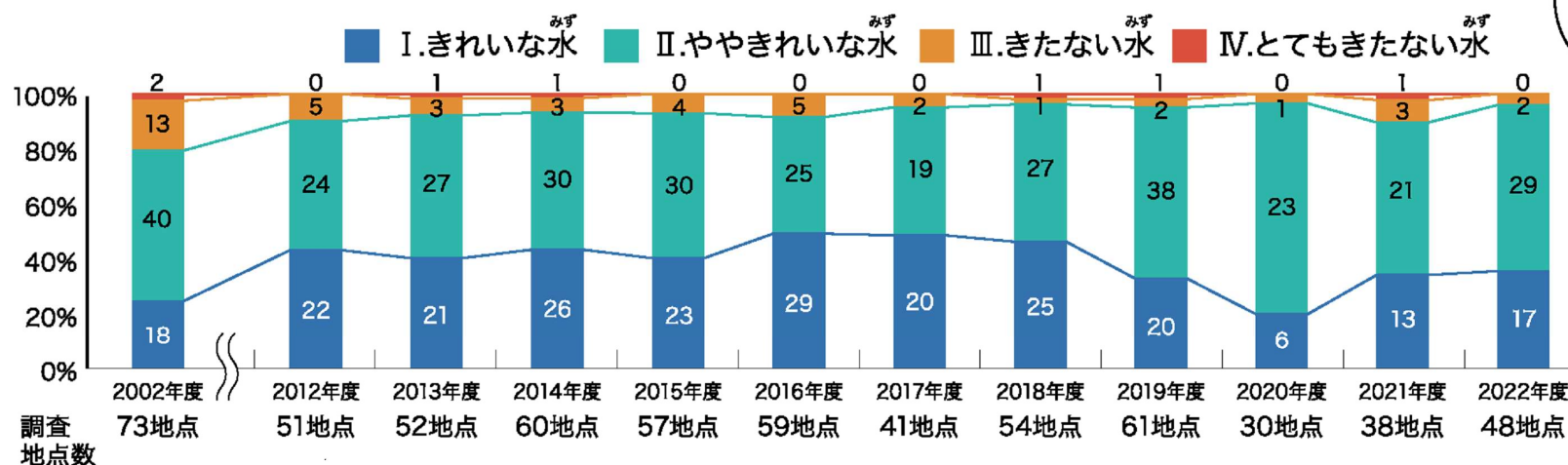
水質階級	指標生物	ア	イ	ウ	エ	オ	水質階級の判定
きれいな水 Ⅰ	カワガサ類 ヘビトンボ ザウガニ	1 1 3	○ ○ ●				
ややきれいな水 Ⅱ	オオシマトビラコ コオヤマ	1 1	○ ○	2	0	2	Ⅰ
きたない水 Ⅲ	ミズカマシ タニシ類	1 2	○ ●	2	1	3	
とてもきれいな水 Ⅳ	ユスリカ類 アメリカカサガ	1 1	○ ○	1	0	1	

結果 この川の水は(I

水生生物調査結果概要 (水のきれいさの移り変わり)

◆「水のきれいさ」の移り変わり

- ◆2002年度と過去11年間の近畿の川の水のきれいさをみると、「きたない水」の地点の割合が減ってきており、「きれいな水」、「ややきれいな水」の地点の割合が増えています。
- ◆このように、過去からのデータをみることで、川の水が昔に比べてきれいになってきているのか、きたなくなっているのかを知ることができます。
- ◆みなさんが調査して得られた結果は、将来にわたって活用されます。

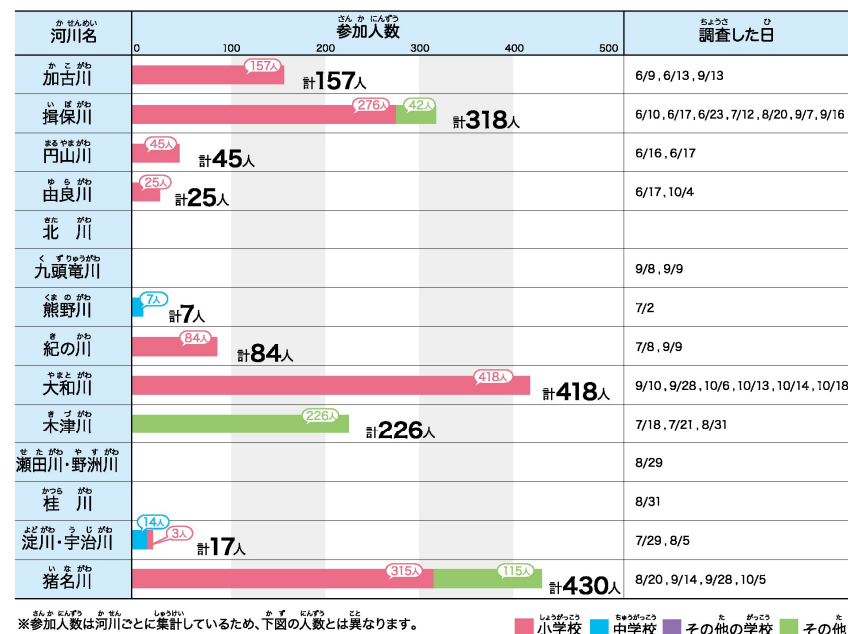


水生生物調査結果概要（参加人数）

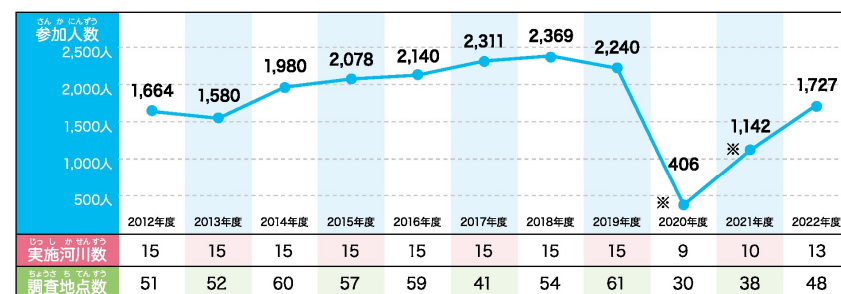
参加人数

- 2022年度調査では、1,727名の方の参加がありました。
- 小・中学生をはじめ、流域住民の方の参加とご協力のもと、昭和59年より継続して調査が実施されています。
- 水生生物調査は、河川環境や水質に関する理解を含める場として定着し、いくつかの小・中学校では、総合的な環境学習の場として活用されています。

<2022年 河川ごとの参加人数>



<これまでの調査地点数と参加人数>



※2022年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症のため、調査を実施していない河川があります。

水生生物調査結果概要（参加者の感想）

- ◆2022年度の水生生物調査に参加した方々の感想をご紹介します。
- ◆次回の調査に是非ご参加してください。きっと新しい発見があると思います。

◆参加された方々のご感想

小学生のみなさんのご感想

<大和川>

- ・もっといろんな生き物を取りたかった。
- ・普段は川で見ない生き物を発見できた。

<由良川>

- ・汚い水に住む生き物はいなかった。
- ・何かの卵があった。
- ・いろんな生き物を見つけて楽しかった。
- ・きれいな水に住む生き物をもっと見つけたかった。

<紀の川>

- ・きれいなところの生物がいてびっくりした。
- ・いろんな生物が見つかって楽しかった。
- ・水の中に入れて楽しかった。

中学生のみなさんのご感想

<淀川>

- ・生物に触れる機会ができ、非常に良い体験ができた。
- ・どんな生物がいるかによって、水のきれいさがわかった。
- ・来年もぜひ参加して他の河川との水質の違いと川の生き物の違いを比べて調べてみたい。

<熊野川>

- ・今年の春に同じ場所で調査したときよりも、今回は多くの水生生物を確認することができた。

河川ごとの調査結果 加古川①

2022年度調査結果

地点数：2地点

参加者数：157人

参加团体：

☆加東市立東条学園小中学校

☆小野市立大部小学校

☆加東市立福田小学校



- ・2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、いずれも「ややきれいな水」であった。

河川ごとの調査結果 加古川②

指標生物の確認状況

地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
					Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ					Ⅳ						Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
					カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ								
粟田橋下流			9/13	あり							○			○	●	●		○														1	6	0	0	Ⅱ	Ⅱ	-		
福田橋上流			6/13	あり				○		○		○	○	●	●																	4	5	0	0	Ⅱ	Ⅱ	-		



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「ややきれいな水」のオオシマトビケラ、ヒラタドロムシ類をはじめ、「きれいな水」、「ややきれいな水」の指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・加古川全体で、「きれいな水」の指標生物が4種、「ややきれいな水」の指標生物が4種確認されています。

河川ごとの調査結果 加古川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 金水寺橋														
2 小南橋														
3 長野橋														
4 船町橋														
5 由緑橋														
6 八坂橋														
7 板波橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ										
8 滝見橋														
9 大門橋														
10 古川橋														
11 東条川合流点下流														
12 西脇橋														
13 大住橋(※2)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			Ⅰ					Ⅱ			
14 御坂橋														
15 美穂川橋														
16 池尻橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ									
17 加古川橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ											
18 大平橋														
19 米田河川敷	Ⅱ													
20 万歳橋														
21 水分れ公園														
22 加東市野村～上田(※3)		Ⅱ									Ⅳ			
23 加古川堰堤		Ⅱ												
24 福田橋				Ⅱ							Ⅱ			Ⅱ
25 加古川大堰下流						Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ			
26 175号交差付近							Ⅰ							
27 加古川合流点付近							Ⅱ	Ⅱ			Ⅱ			
28 粟田橋下流(※1)									Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ			Ⅱ
29 加古川河口干潟											Ⅱ			
30 鹿野橋													Ⅱ	

未実施

○調査地点

- ・これまでに延べ30地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2009年以降、概ね水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

(※1) 「粟田橋」地点は、2018年の調査より「粟田橋左岸下流」地点として整理している。

(※2) 「大住橋」地点は、2019年の調査では「大住橋上流」地点として整理している。

(※3) 「加東市野村～上田」地点は、2019年の調査では「野村～上田」地点として整理している。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

河川ごとの調査結果 加古川④

調査実施状況



福田橋上流



栗田橋下流

河川ごとの調査結果 揖保川①

2022年度調査結果

地点数：7地点

参加者数：318人

参加团体：

☆姫路市立

余部小学校

☆たつの市立

揖保小学校

☆たつのこども

エコクラブ

☆たつの市立

龍野小学校

☆たつの市立

越部小学校

☆たつの市立

新宮小学校

☆**宍粟市立**

城下小学校



- ・7地点で調査が実施され、水質判定による結果は、「きれいな水」が3地点、「ややきれいな水」が4地点であった。

河川ごとの調査結果 揖保川②

指標生物の確認状況

地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
					Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					点数の最も高い階級							
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ				Ⅳ
					カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ		点数計	点数計	点数計				点数計
王子橋下流	○	王子橋下流	9/7	あり				○										●	●							○						1	5	0	1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			
揖保川大橋下流			6/23	あり	●	○	○	○	○					○	●	○			○													6	5	0	0	Ⅰ	Ⅰ	-			
千鳥ヶ浜公園			8/20	あり	●			●						○		○			○													4	3	0	0	Ⅰ	Ⅰ	-			
龍野橋上流	○	龍野橋上流	6/17	あり	●	○		○	○					○		●		○	○													5	5	0	0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			
下野田橋			6/10	あり	●	○		○						○		●		●	○					○								4	6	1	0	Ⅱ	Ⅱ	-			
芝田橋			9/16	あり	○					○			○	○	○	○	○	●	○	○								○				3	8	1	1	Ⅱ	Ⅱ	-			
城下橋			7/12	あり	○	○			○				○	○	○	○	○	●										○	○			4	7	0	2	Ⅱ	Ⅱ	-			



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のカワゲラ類、ヒラタカゲロウド類をはじめ、全ての水質階級の指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・揖保川全体で確認された指標生物は、「きれいな水」のが7種、「ややきれいな水」が7種、「きたない水」が2種、「とてもきたない水」が4種でした。

河川ごとの調査結果 揖保川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 木坂橋														
2 安積橋														
3 西安積橋														
4 間賀橋														
5 清姫橋	I	I	I											
6 山崎大橋	I	I	I											
7 香島橋														
8 新香橋(※7)						I	II	I		II				
9 菊崎橋	II	I	II											
10 大屋橋														
11 祇園橋														
12 龍野橋上流	II	II	I						II		II		I	I
13 揖保上頭首工														
14 正条橋														
15 不動橋														
16 中山橋														
17 下橋橋														
18 中井橋														
19 警備橋(※8)										I	II		II	
20 王子橋下流	II	II	II										II	II
21 浜田井堰														
22 真砂橋	II		II											
23 揖野河川敷														
24 神河橋(※1)						I								
25 片吹頭首工							II	II	II					
26 龍野新大橋							II	II	II					
27 鹿ヶ巻	I	I	I	I	I	I	I	I	I					
28 中井橋														
29 山陽新幹線														
林田川橋梁(※2)	II	II	II	II	II	II		II	II	II	II			
30 岩見橋上														
31 阿曾井堰下流	II	II	II											
32 河東大橋														
33 千鳥ヶ浜(※3)	II	II	II	I	II	II	II		II	II	II		I	
34 水辺の楽校(※4)	II			II	II	I	II	II	II	I	II			
35 染河内川			I	I										
36 新宮リバーパーク		II												
37 林田川(姫路バイパス 付近)(※5)			II	II	II	II	II	II	II		II		II	
38 都多小学校付近					I	I	I	I						
39 大垣内橋上流					I									
40 染河内橋						I								
41 相坂橋下流						I								
42 染河内小学校付近						I								
43 三方繁盛浄水場付近						I	I	I						
44 芝田橋歩道橋						II								
45 Iの館黒原付近							I	I						
46 さつき大橋下流							I				I			
47 芝田橋(※6)							II	II	II					II
48 揖保川大橋下流														I
49 下野田橋														II
50 城下橋														II

未実施

○調査地点

・これまでに延べ50地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

・2009年以降、概ね水質階級Ⅰ「きれいな水」または、水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

(※1) 「粟田橋」地点は、2018年の調査より「粟田橋左岸下流」地点として整理している。

(※2) 「大住橋」地点は、2019年の調査では「大住橋上流」地点として整理している。

(※3) 「加東市野村～上田」地点は、2019年の調査では「野村～上田」地点として整理している。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

河川ごとの調査結果 揖保川④

調査実施状況

王子橋
下流



千鳥ヶ浜
公園



揖保川大橋
下流



龍野橋
上流



河川ごとの調査結果 円山川①

2022年度調査結果

地 点 数 : 2地点

参加者数 : 45人

参加団体 :

☆豊岡市立府中小学校

☆豊岡市立福住小学校



・ 2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、いずれの地点も「きれいな水」であった。

河川ごとの調査結果 円山川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チオウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計					
8-1	上ノ郷橋下流	○	上ノ郷橋下	6/16	あり	○	○	●	○			○			○	○	●		○														6	5	0	0	I	I	I		
8-2	寺内橋下流	○	寺内橋下流	6/17	あり	●	○	○				○					●		○	○													5	4	0	0	I	I			



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のカワゲラ類、ヒラタカゲロウド類をはじめ、「きれいな水」、「ややきれいな水」の指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・円山川全体で確認された指標生物は、「きれいな水」のが6種、「ややきれいな水」が5種でした。

河川ごとの調査結果 円山川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 府市場(※1)		I	II	I		II	II	I	I	I	I	II	I	I
2 鍛冶屋														
3 寺内橋下流											I		I	I
4 和田山町栄町														
5 出石町福住	I													
6 日高町稲葉	I													
7 弘原		I		I	I	II	I	I						

(※1) 「府市場」地点は、2018年の調査より「上ノ郷橋下流」地点に整理している。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・ これまでに延べ7地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・ 2009年以降、概ね水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 円山川④

調査実施状況



上ノ郷橋下流

龍野橋上流

河川ごとの調査結果 由良川①

2022年度調査結果

地点数：2地点

参加者数：25人

参加団体：

☆綾部市立東綾小中一貫校

☆綾部市立志賀小学校

☆綾部市立物部小学校



・ 2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、「きれいな水」が1地点、「ややきれいな水」が1地点であった。

河川ごとの調査結果 由良川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワフナナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ									
7-1	有安橋	○	有安橋	6/17	あり		●		○	○							○	●														5	3	0	0	I	I	II			
7-2	沖田橋			10/4	あり					○								○	○	●	●											1	6	0	0	II	II				



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のナガレトビケラ類、「ややきれいな水」のカワニナ類、コオニヤンマをはじめ、「きれいな水」、「ややきれいな水」の指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・由良川全体で確認された指標生物は、「きれいな水」が4種、「ややきれいな水」が4種でした。

河川ごとの調査結果 由良川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
丹波大橋														
以久田橋														
山下橋														
川北橋														
新橋														
高畑橋														
新土師橋(※1)		II	II	II	I									
音無瀬橋	I	I	II	II	I									
新音無瀬橋														
新庄橋														
笠巻橋														
波美橋														
大雲橋														
西飼橋														
六人部橋														
畑川親水公園														
猪野々橋														
芦生														
河瀬橋														
和知町細谷														
山家橋下流														
仏谷橋														
荷稻橋														
弓削橋														
十倉橋														
相良橋														
上端橋														
大手橋	II		I	I	I	I				I				
南島橋														
車瀬橋														
朝根橋														
畑口川														
福知山市私市付近														
南丹市美山町			I											
上平屋付近(※2)														
故屋岡町岩村付近(※3)											I	I	I	
綾部由良川水生園														
有安橋	I	I	I	I	I		I	I	I	I	I	I	II	I
市場大橋	II													
新小貝橋		II												
新橋サンダル公園		II												
猿田彦公園		II	II											
石原					I									
縄手				II										
朝根橋上流						I	I	I						
犀川上流(沖田橋)											I			II
物部橋											II			

○調査地点

- ・これまでに延べ46地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2009年以降、概ね水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

(※1) 「新土師橋」地点は、2010年の調査より「新土師川橋」地点として整理している。

(※2) 「南丹市美山町上平屋付近」地点は、2011年の調査より「上平屋」地点として整理している。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

河川ごとの調査結果 由良川④

調査実施状況



有安橋



沖田橋

2022年度調査結果



河川ごとの調査結果 北川②

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 新道														
2 三宅橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	未実施	未実施	未実施
3 天徳寺橋	I	I	I	I	II	I	I	I						
4 神谷橋														
5 高塚橋	II	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I			



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ5地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2020年～2022年まで調査は実施されませんでしたでしたが、2009年以降、以降、概ね水質階級Ⅰ「きれいな水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 九頭竜川①

2022年度調査結果

地点数：3地点（直営実施）

参加者数：

参加団体：



- ・ 3地点で調査が実施され、水質判定による結果は、いずれも「きれいな水」でした。

河川ごとの調査結果 九頭竜川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と 同地点	昨年の 地点名	調査月 日	参加団 体の有 無	指標生物の出現状況（見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	昨 年 の 判 定	今 年 の 判 定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ							Ⅳ				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計					
1-1	和泉支所前	○	和泉支所前	9/8	直営	○	○		●	●																						6	0	0	0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			
1-2	九頭竜川上流	○	九頭竜川上	9/8	直営	○	○	●	○	○																						7	0	0	0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			
1-3	前坂キャンプ場			9/9	直営	○		●	●	○				○																			7	0	0	0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のヤマトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボを中心に、確認された指標生物は全て「きれいな水」の指標生物でした。

○確認種数

- ・九頭竜川全体で確認された指標生物は、「きれいな水」が6種でした。

河川ごとの調査結果 九頭竜川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 鳴鹿堰下流														
2 鳴鹿橋上流	I	II	I	I	III	III	I	I						
3 福井大橋(※1)	I	I	I	I	II	I	I	I	I	I	II			
4 中角橋(※2)	I	I	I	I	IV	I	I	I	II	I	II			
5 江端川合流点														
6 朝宮橋														
7 布施田橋														
8 和泉支所前						I	I	I	II	I	I			I
9 前坂キャンプ場						I	I	I	I	I	I			I
10 九頭竜川上流							I	I	I	I	I			I

(※1) 「福井大橋」地点は、2002年の調査より「福井大橋下流」地点として整理している。

(※2) 「中角橋」地点は、2004年の調査より「天池河川公園前」地点として整理している。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ10地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2013年及び2014年は、水質階級Ⅲ「きたない水」、水質階級Ⅳ「とてもきたない水」を示す地点がみられましたが、2015年以降は、概ね水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 熊野川①

2022年度調査結果

地点数：1地点

参加者数：7人

参加団体：

☆近畿大学附属新宮高等学校・
中学校



- ・ 1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、「きれいな水」でした。

河川ごとの調査結果 熊野川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計					
10-1	相野谷橋下流	○	相野谷橋下流	7/2	あり	●	○		●	○					○				○														6	2	0	0	I	I	I		

	水質階級Ⅰ きれいな水		水質階級Ⅱ ややきれいな水		水質階級Ⅲ きたない水		水質階級Ⅳ とてもきたない
---	----------------	---	------------------	--	----------------	---	------------------

○確認された種

- ・「きれいな水」のカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類の他、「きれいな水」のナガレトビケラ類、ヘビトンボ、「ややきれいな水」のコガタシマトビケラ類、コオニヤンマが確認されました。

○確認種数

- ・熊野川で確認された指標生物は、「きれいな水」が4種、「ややきれいな水」が2種でした。

河川ごとの調査結果 熊野川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 新宮川5.0k			未 実 施											
2 相野谷橋(※1)	I	I		I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 熊野大橋														
4 丸山橋														



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ4地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2009年以降、概ね水質階級Ⅰ「きれいな水」を維持しています。

河川ごとの調査結果 熊野川④

調査実施状況



相野谷橋下流

河川ごとの調査結果 紀の川①

2022年度調査結果

地点数：2地点

参加者数：84人

参加团体：

☆和歌山市立有功東小学校

☆橋本市立高野口小学校



- ・2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、いずれも「きれいな水」でした。

河川ごとの調査結果 紀の川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズミ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計			
9-1	出世不動明王橋			7/8	あり	●														○												4	1	0	0	Ⅰ	Ⅰ	-			
9-2	丹生橋			9/9	あり	●														●												2	2	0	0	Ⅰ	Ⅰ				



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のカワゲラ類、ヨコエビ類の他、「ややきれいな水」のコオニヤンマが確認されました。

○確認種数

- ・熊野川で確認された指標生物は、「きれいな水」が3種、「ややきれいな水」が1種でした。

河川ごとの調査結果 紀の川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 大川橋	II										II	未実施	未実施	
2 恋野橋														
3 橋本橋														
4 岸上橋														
5 紀伊丹生川合流点														
6 三谷橋														
7 麻生津大橋														
8 龍門橋														
9 竹房橋														
10 岩出橋														
11 諸井橋														
12 貴志橋														
13 川辺														
14 九度山橋	II	II	I	I	I	I						未実施	未実施	
15 井阪橋														
16 九度山町河根														
17 阪合部橋														
18 大関橋														
19 観音橋							II							
20 口畑橋														
21 出世不動明王(※1)	II	I	I	I	I	I	I	I	I	I				I
22 丹生橋(※2)								I	I	I	I			I
23 かんもん橋下流											II			

○調査地点

- ・これまでに延べ23地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2009年以降、水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

河川ごとの調査結果 紀の川④

調査実施状況



出世不動明王橋

丹生橋

河川ごとの調査結果 大和川①

2022年度調査結果

地点数：

6地点

参加者数：

418人

参加团体：

☆堺市立

新金岡小学校

★大阪市立

矢田小学校

★大阪府立

瓜破西小学校

☆富田林市

錦郡小学校

☆堺市立

白鹭小学校

☆八尾市立

魯井小学校

☆三郷町教育

委员会



- ・6地点で調査が実施され、水質判定による結果は、いずれも「ややきれいな水」でした。

河川ごとの調査結果 大和川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ					Ⅳ						Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ類	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級				
4-1	浅香（新）	○	浅香（新）	10/18	あり	【浅香(10/18)】この地点では、指標生物は確認されませんでした、指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、“Ⅱ ややきれいな水”と判断しています。																													0	0	0	0	無	Ⅱ	Ⅲ	
4-2	行基大橋	○	行基大橋	10/18	あり	【行基大橋(10/18)】この地点では、指標生物は確認されませんでした、指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、“Ⅱ ややきれいな水”と判断しています。																													0	0	0	0	無	Ⅱ	Ⅱ	
4-3	瓜破大橋	○	瓜破大橋	10/6	あり															●													0	2	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ			
4-4	河内橋	○	河内橋	9/28	あり	【河内橋(9/28)】この地点では、指標生物は確認されませんでした、指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、“Ⅱ ややきれいな水”と判断しています。																													0	0	0	0	無	Ⅱ	Ⅱ	
4-4	河内橋	○	河内橋	10/14	あり	【河内橋(10/14)】この地点では、指標生物は確認されませんでした、指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、“Ⅱ ややきれいな水”と判断しています。																													0	0	0	0	無		Ⅱ	
4-5	国豊橋			10/13	あり	【国豊橋(10/13)】この地点では、指標生物は確認されましたが、指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、“Ⅱ ややきれいな水”と判断しています。																													●	0	0	0	2	Ⅳ	Ⅱ	-
4-6	御幸大橋			9/10	あり	【御幸大橋(9/10)】この地点では、指標生物は確認されましたが、指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、“Ⅱ ややきれいな水”と判断しています。																													●	0	0	2	2	Ⅲ	Ⅱ	-

○確認された種

- ・指標生物は瓜破大橋で「ややきれいな水」のコオニヤンマが確認されました。

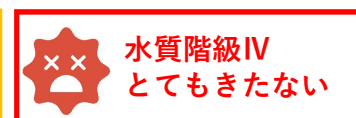
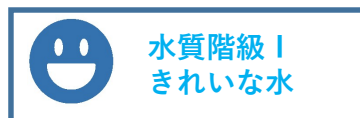
○確認種数

- ・瓜破大橋以外の調査地点では、指標生物以外の採集結果から、「ややきれいな水」と判定しています。

河川ごとの調査結果 大和川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 上吐田														
2 太子橋														
3 御幸大橋	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	無	Ⅲ		Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ
4 藤井	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	無	無	無	Ⅲ	Ⅲ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	
5 国豊橋														Ⅱ
6 河内橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	無	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
7 瓜破大橋												Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
8 行基大橋												Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
9 浅香新取水口(※1)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	無	無	Ⅳ	無	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ
10 遠里小野橋														



○調査地点

- ・これまでに延べ10地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2017年までは、水質階級Ⅲ「きたない水」の地点が多くみられましたが、2018年からは、概ね水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 大和川④

調査実施状況

浅香（新）



瓜破大橋



行基大橋



河内橋



2022年度調査結果

5地点

参加者数 :

226人

参加团体：

☆上野生涯

学習推進会議



河川ごとの調査結果 木津川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					Ⅰ 点数計	Ⅱ 点数計	Ⅲ 点数計	Ⅳ 点数計			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ類	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ								
3-15	木津川御幸橋	○	木津川御幸橋	8/31	直営				○										●	●													1	4	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		
3-16	玉水橋	○	玉水橋	8/31	直営	○			○										●	●													2	4	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		
3-17	恭仁大橋	○	恭仁大橋	8/31	直営	○			○										●	●	○												2	5	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		
3-18	服部橋	○	服部橋	7/21	あり	●	○	○	●				○	○												○			○	○			8	2	0	3	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		
3-19	稲広橋	○	稲広橋	7/18	あり	○	○	○	○	●	○		○	●					○	○	○	○			○	○							10	4	2	0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、「ややきれいな水」のコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ等が確認されました。

○確認種数

- ・木津川全体で確認された指標生物は、「きれいな水」が8種、「ややきれいな水」が6種、「きたない水」が2種、「とてもきたない水」が3種でした。

河川ごとの調査結果 木津川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 中垣内橋														
2 稲広橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 阿保橋														
4 古郡 潜水橋														
5 比土橋														
6 大野木橋														
7 芝床橋														
8 新長田橋														
9 新居橋														
10 岩倉橋														
11 長瀬														
12 新夏見橋(※1)			II	II										
13 高橋														
14 黒田大橋														
15 名張大橋														
16 大屋戸潜水橋														
17 薦生橋														
18 家野														
19 笠置橋														
20 恭仁大橋	I	II	II	II	II	II	II	II	I	II	II	II	II	II
21 泉大橋														
22 泉大橋下流2km														
23 玉水橋	II	II	II	II	II	II	II	II		II	II	II	II	II
24 岩田														
25 木津川御幸橋	II	II	II	III	I	II	II	II		II	II	II	II	II
26 服部橋	I		I	I	I	I	I	I	I	I			I	I
27 木の平橋														
28 新町橋			II			I								
29 不動川砂防歴史公園														
30 大山田														
31 壬生野														
32 三田														
33 糸川橋														
34 黒田橋	II													
35 依那古橋		II			II									

○調査地点

・これまでに延べ35地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

・2013年以降、水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

河川ごとの調査結果 木津川④

調査実施状況



稲広橋



服部橋

河川ごとの調査結果 瀬田川①

2022年度調査結果

地点数：1地点（直営実施）

参加者数：0人

参加団体：直営実施



・1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、「きれいな水」でした。

河川ごとの調査結果 瀬田川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマシ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ								
3-10	瀬田川信楽川合流点			8/29	直営		○			○					●				○													4	1	0	0	I	I				



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない



○確認された種

- ・「きれいな水」のサワガニの他、ナガレトビケラ類、ヘビトンボ、「ややきれいな水」のカワニナ類が確認されました。

○確認種数

- ・瀬田川で確認された指標生物は、「きれいな水」が3種、「ややきれいな水」が1種でした。

河川ごとの調査結果 瀬田川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 石山寺対岸													未実施	
2 石山小学校前														
3 瀬田川洗堰下														
4 信楽川・瀬田川 合流点(※1)	I	I	II	I	I	II	I	I	I	I	I	II		I
5 瀬田川・大石川 合流点			I	II	I	II								
6 高橋下流								I	I		I			



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ6地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2013年以降、水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 瀬田川④

調査実施状況



瀬田川・信楽川合流点

河川ごとの調査結果 野洲川②

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
野洲川大橋						Ⅱ							未実施	未実施
落差工(※1)		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ				Ⅱ	Ⅰ			
名神野洲川橋	Ⅱ						Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ3地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2013年以降、水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移していますが、2021年、2022年は調査が実施されていません。

河川ごとの調査結果 桂川①

2022年度調査結果

地点数：4地点（直営実施）

参加者数：0人

参加団体：直営実施

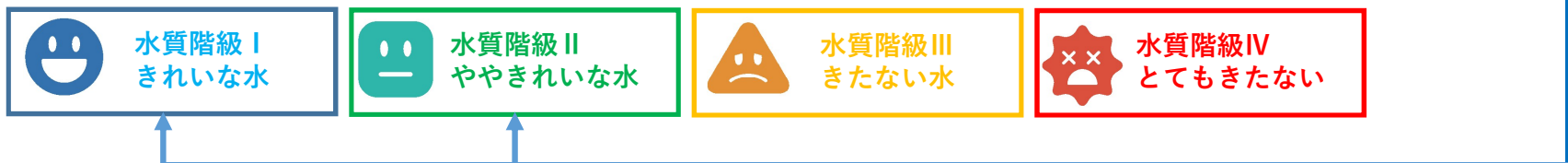


- ・ 4地点で調査が実施されました。水質判定による結果は、いずれも「ややきれいな水」でした。

河川ごとの調査結果 桂川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と 同地点	昨年の 地点名	調査 月日	参加 団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年 の判定	昨年 の判定
						I										II								III							IV				I	II	III	IV			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計			
3-11	宮前橋	○	宮前橋	8/31	直営				●										●	○											2	3	0	0	II	II	II				
3-12	羽束師橋	○	羽束師橋	8/31	直営				○										●	●	○										1	5	0	0	II	II	II				
3-13	西大橋	○	西大橋	8/31	直営	○	○		○										●	●	○										4	5	0	0	II	II	I				
3-14	渡月橋	○	渡月橋	8/31	直営	○	○		○							○			●	●	○										4	6	0	0	II	II	I				



○確認された種

- ・「ややきれいな水」のコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラを中心に、「きれいな水」ヒラタカゲロウ類や、「きれいな水」、「ややきれいな水」の指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・桂川で確認された指標生物は、「きれいな水」が4種、「ややきれいな水」が4種でした。

河川ごとの調査結果 桂川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 渡月橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ
2 上野橋														
3 西大橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ
4 羽東師橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
5 宮前橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
6 大山崎														



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ6地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・2013年以降、水質階級Ⅰ「きれいな水」または水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 桂川④

調査実施状況

渡月橋



羽束師橋



西大橋



宮前橋



河川ごとの調査結果 淀川・宇治川①

2022年度調査結果

地点数：9地点
(8地点は直営実施)

参加者数：17人

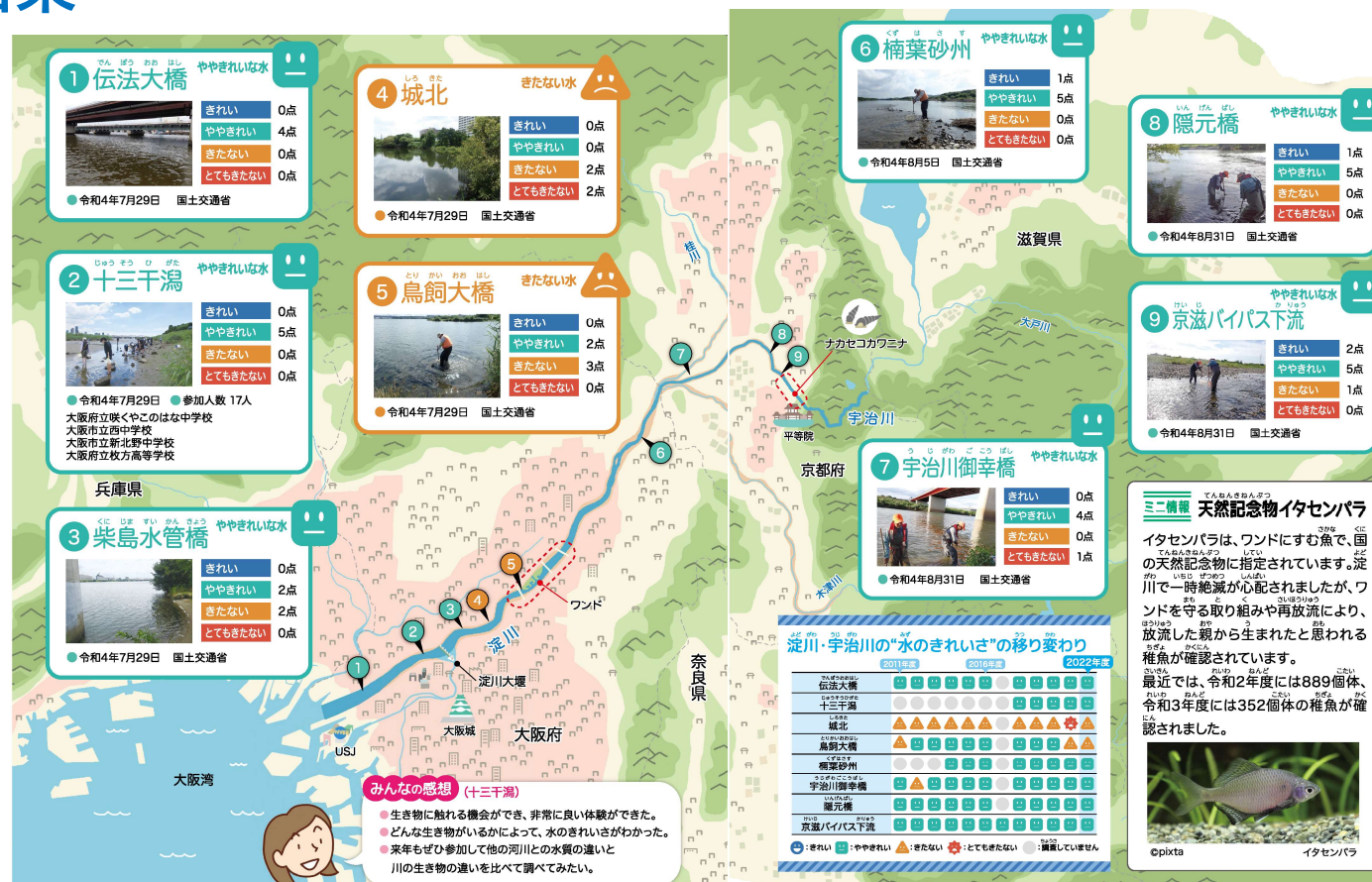
参加団体：

☆大阪府立咲くやこの花中学校

☆大阪市立西中学校

☆大阪市立新北野中学校

☆大阪府立枚方高等学校



・9地点で調査が実施されました。水質判定による結果は、「ややきれいな水」が7地点、「きたない水」2地点でした。

河川ごとの調査結果 淀川・宇治川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と同地点	昨年の地点名	調査月日	参加団体の有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ					Ⅳ						Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコップムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラムミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計				
3-1	伝法大橋	○	伝法大橋	7/29	直営												●	●												0	4	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ					
3-2	十三干潟	○	十三干潟	7/29	あり										○		●	●												0	5	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ					
3-3	柴島水管橋	○	柴島水管橋	7/29	直営											●						●								0	2	2	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ					
3-4	城北	○	城北	7/29	直営																●						○	○	0	0	2	2	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ						
3-5	鳥飼大橋	○	鳥飼大橋	7/29	直営											●					○	●							0	2	3	0	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ						
3-6	楠葉砂州	○	楠葉砂州	8/5	直営		○					●	●			○													1	5	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ						
3-7	宇治川御幸橋	○	宇治川御幸橋	8/31	直営							●				●										○			0	4	0	1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ						
3-8	隠元橋	○	隠元橋	8/31	直営			○				○	●			●													1	5	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ						
3-9	京滋バイパス下流	○	京滋バイパス下流	8/31	直営	○		○				○	●			●			○										2	5	1	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ						



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「ややきれいな水」のコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、カワニナ類、ヤマトシジミ、イシマキガイなどの指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・桂川で確認された指標生物は、「きれいな水」が3種、「ややきれいな水」が6種、「きたない水」が3種、「とてもきたない水」が2種でした。

河川ごとの調査結果 淀川・宇治川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 宇治橋(※5)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
2 隠元橋			Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
3 観月橋														
4 宇治川御幸橋	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
5 枚方大橋														
6 鳥飼大橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ
7 豊里大橋														
8 城北ワンド(※1)	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ
9 柴島水管橋	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
10 淀川大堰(※2)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ					
11 西中島														
12 伝法大橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
13 枚方大橋(磯島)														
14 船橋川河口														
15 穂谷川合流点(※3)	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ									
16 十三干潟(※4)	Ⅱ	Ⅱ								Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
17 向島														
18 東高瀬川合流部	Ⅱ	Ⅱ												
19 楠葉砂州						Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○調査地点

- ・これまでに延べ19地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

- ・中流域では、水質階級Ⅱ「ややきれいな水」、下流域では水質階級Ⅱ「ややきれいな水」または水質階級Ⅲ「きたない水」で推移しています。

河川ごとの調査結果 淀川・宇治川④

調査実施状況

十三干潟



隠元橋



京滋
バイパス
下流



宇治川
御幸橋



河川ごとの調査結果 猪名川①

2022年度調査結果

地 点 数 : 4地点
参加者数 : 430人
参加団体 : 川西市立川西小学校
川西市立東谷小学校

参加者数：430人
参加団体：川西市立川西小学校
川西市立東谷小学校

**参加団体：川西市立川西小学校
川西市立東谷小学校**



- ・ 4地点で調査が実施されました。水質判定による結果は、「きれいな水」が2地点、「ややきれいな水」2地点でした。

河川ごとの調査結果 猪名川②

指標生物の確認状況

地点番号	地点名	昨年と 同地点	昨年の 地点名	調査 月日	参加 団体の 有無	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																													集計				判定	今年 の判定	昨年 の判定
						Ⅰ										Ⅱ								Ⅲ						Ⅳ					Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							
						カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チョウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級			
3-20	桑津橋	○	桑津橋	8/20	あり								○				●				○												1	3	0	0	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ		
3-21	池田床固下流	○	池田床固下流	8/20	あり	○	○		●	○			○	○	○	○	○	○		○	●				○			○		○	○	○	8	6	1	4	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		
3-21	池田床固下流	○	池田床固下流	9/14	あり															●				●								0	2	2	0	Ⅱ		Ⅰ			
3-22	こんにやく橋	○	こんにやく橋	8/20	あり	○							○		○	○	○		●	○				●						○			2	6	2	1	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ		
3-23	初谷川	○	初谷川	9/28	あり	○	○					●						○		●	○											4	4	0	0	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			
3-23	初谷川	○	初谷川	10/5	あり	○						●							●	○												3	3	0	0	Ⅰ		Ⅰ			



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

○確認された種

- ・「きれいな水」のヒラタカゲロウ類、サワガニ、「ややきれいな水」のコオニヤンマ、カワニナ類、オオシマトビケラ、「ややきたない水」のシマイシビルその他、「とてもきたない水」の指標生物が確認されました。

○確認種数

- ・猪名川で確認された指標生物は、「きれいな水」が7種、「ややきれいな水」が5種、「きたない水」1種、「とてもきたない水」が4種でした。

河川ごとの調査結果 猪名川③

調査結果の経年変化

地 点	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
1 小戸井堰														
2 加茂井堰														
3 池田床固(※1)	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II		I	I
4 久代北台井堰														
5 高木井堰														
6 軍行橋														
7 三ヶ井井堰														
8 桑津橋		II	II	II	II	II	II	I	II	II	III		II	II
9 分派点														
10 中園橋														
11 文珠橋														
12 御社橋														
13 吉田橋														
14 銀橋上流(※2)		II	II	II	II	II	II	II	II	I	II	II	I	II
15 向所橋														
16 上ノ所橋														
17 上止々呂美														
18 奥猪名健康の郷								I	I	I	I			
19 支流初谷川								I	I	I			I	I
20 ドラゴンランド								II	II	I	I		I	
21 観音橋									I					
22 猪名川町立ふるさと館親水公園										I				
23 支流初谷川最上流										I				
24 支流余野川										I				
25 キセラせせらぎ水路										II				
26 支流千里川親水公園										IV				
27 藻川中園橋下										II				

○調査地点

・これまでに延べ27地点で調査が実施されました。

○水のきれいさの経年変化

・水質階級Ⅲ「きたない水」、水質階級Ⅳ「とてもきたない水」がみられることもありましたが、概ね、水質階級Ⅰ「きれいな水」、水質階級Ⅱ「ややきれいな水」で推移しています。



水質階級Ⅰ
きれいな水



水質階級Ⅱ
ややきれいな水



水質階級Ⅲ
きたない水



水質階級Ⅳ
とてもきたない

河川ごとの調査結果 猪名川④

調査実施状況

こんにやく
橋



桑津橋



池田床固
下流



初谷川



終わりに きれいな川を守るために私たちにできること

家庭からの生活排水も川の水を汚す大きな原因です。食器を洗ったり、洗濯をしたりするときに出る汚れた水をそのまま捨てると、川や海を汚すことになります。もちろん多くの家庭から出る汚れた水は、下水処理場で汚れを取り除きますが、完全にきれいになるわけではありません。家庭でのちょっとした工夫と気配りで水をきれいにしてお手伝いができます。



生活排水って？

キッチンから出る排水

洗濯の排水

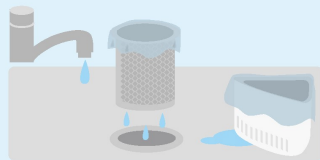
トイレからの排水

お風呂からの排水

川を汚さない工夫と気配り

残した食事を流さないようにしましょう

調理のくずや食べ残しが流れてしまわないように、排水口や三角コーナーに水切り袋などを使いましょう。



食器を上手に洗いましょう

食器や鍋の汚れは紙などで一度拭き取ってから洗いましょう。使う洗剤は適量にしましょう。



適量の洗剤で洗濯しましょう

洗濯や入浴の際の洗剤・石けん・シャンプーなどは適量を使いましょう。たくさん使っても洗浄力が高まるわけではありません。



米のとぎ汁は植木の水やりに利用しましょう



使い終わった油はきちんと処理しましょう

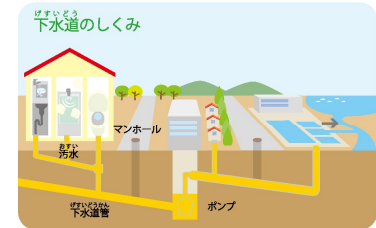
油は使い切るようにしましょう。リサイクルに出すか、やむを得ず捨てる時は、凝固剤で固めたり、古新聞紙にしみこめたりして燃えるゴミとして捨てましょう。



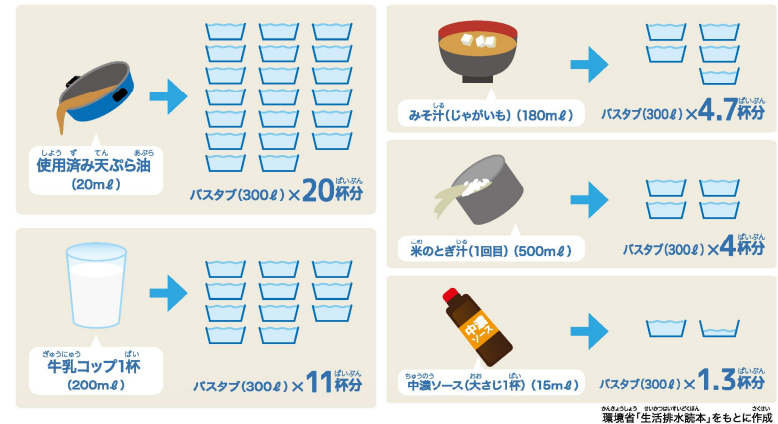
※ゴミとして出すときはお住まいの自治体の収集方法にしたがってください

Q 下水道と下水処理場があるから、排水なんか気にしないでいいんじゃないの？

A 下水道が普及して、下水処理場があったとしても、生活排水に含まれる汚れの原因の物質をすべて取りのぞくことはできません。下水処理場で処理された水も、川や海に放流されますから、川や海の水質を悪くするおそれもあります。



もし直接、川に流したら魚がすめる水質に戻すには、こんなにたくさんの水が必要！



持続可能な世界をめざして～SDGs～

持続可能な開発目標SDGs(エス・ディー・ジーズ)ってなに？

持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。17のゴール・169のターゲットから構成されています。地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみでなく、先進国が取り組むユニバーサル(普遍的)なもので、日本としても積極的に取り組んでいます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



出典：国際連合広報センターHP https://www.un.org/ja/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/